MR-01

取扱説明書

Auto Darkening
Welding Glasses

might

本製品は、溶接作業以外の用途には絶対に使用しないでください。
作業中は、目の保護のために絶対に外さないでください。

目次

製品の使用用途と特長 …… 4
ご使用になる前に …… 5
セット内容 …… 6
各部の名称 …… 7
製品の仕様 …… 8
溶接作業への適用 …… 9
使用前の確認事項 …… 10
操作表示部 …… 11
機能の説明 …… 12
リチウム電池の交換方法 …… 14
メガネストラップの取付け方法 …… 15
サイドプロテクターの取付け方法 …… 16
前面カバープレートの交換時期と取付け方法 …… 20
安全上のご注意 …… 23
トラブルシューティング …… 31
保証書 …… 35

製品の使用用途

・本製品は作業現場で有害な光線（紫外線、赤外線、および強烈な可視光線）が発生したときに自動的に遮光する眼鏡型の保護具で、溶接や溶接周辺の作業など、さまざまな現場での使用が可能です。

製品の特長

・本製品は、アーク光を検知すると自動的に遮光する溶接メガネです。軽量のため圧迫感がなく、快適に作業をすることができます。
・本製品は、一般的な遮光保護具の用途に使用され、限られたスペースでも使用可能です。また密着性とフィット感が既存の保護具よりも優れています。

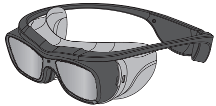
ご使用になる前に

ご使用前にこの取扱説明書を良く読んで、正しくご使用ください。

以下の項目は、本製品を効率的に使用するために必要な点検事項を記載しています。
必ずお読み頂き、ご使用ください。

- アーク光と光センサーが一直線を維持するよう、溶接部位が常に正面を向くように使用してください。
- 遮光レンズや前面カバープレートに異物が付着した場合には、必ず拭き取って使用してください。
- ローバッテリー警告灯が点灯したら、速やかにリチウム電池を交換してください。
（リチウム電池　-　CR 2032/3V　2個）

セット内容



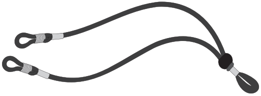
本体（サイドプロテクター、
前面カバープレート、リチウム電池含む）

前面カバープレート　1枚

取扱説明書

収納ケース

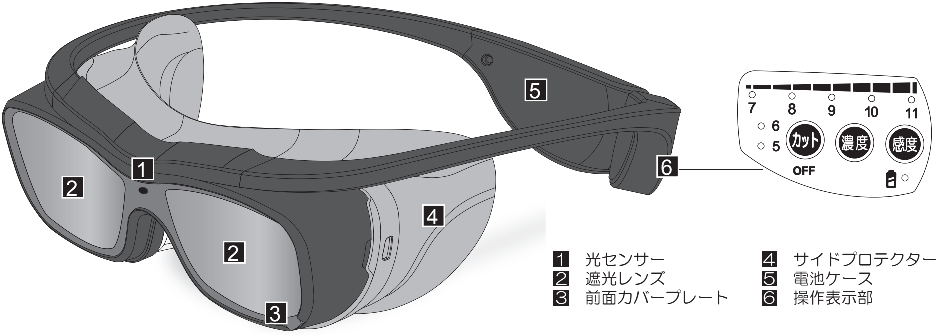
メガネ拭き



メガネストラップ

リチウム電池　2個

各部の名称



1　光センサー
2　遮光レンズ
3　前面カバープレート
4　サイドプロテクター
5　電池ケース
6　操作表示部

製品の仕様

遮光濃度	遮光前：#3固定（グラインド機能） カット：#5、#6 溶　接：#7、#8、#9、#10、#11	動作温度	-5℃　～　+55℃
		保管温度	-10℃　～　+70℃
遮光速度	1/20,000秒	電源	リチウム電池（CR 2032/3V）　2個
視野範囲	55mm×35mm（2ヶ所）	電池の寿命	1,000時間（未使用時は24ヶ月保管可能）
感度調節	(LOW) 7 ▸ 8 ▸ 9 ▸ 10 ▸ 11 (HIGH)	ローバッテリー 警告灯	赤LEDが2秒ごとに点滅
自動停止機能	作業終了後60分以上連続して 光の変化がない場合、自動停止 （1分前に遮光レンズ点滅）	外形寸法	149mm×173mm×56mm
		質量	92g（サイドプロテクター含まず）

溶接作業への適用

遮光保護具の使用標準（JIS-T8141規格）

<table>
<tr><th rowspan="3">遮光度
番　号</th><th colspan="3">アーク溶接・切断作業</th><th colspan="4">ガス溶接・切断作業</th></tr>
<tr><th rowspan="2">被覆アーク
溶接</th><th rowspan="2">ガスシールド
アーク溶接</th><th rowspan="2">アークエア
ガウジング</th><th colspan="2">溶接及びろう付け[1)]</th><th rowspan="2">酸素切断[2)]</th><th rowspan="2">プラズマ
ジェット切断</th></tr>
<tr><th>重金属の溶接
及びろう付け</th><th>放射フラックス
による溶接[3)]
（軽金属）</th></tr>
<tr><td>4</td><td>-</td><td rowspan="5">-</td><td rowspan="6">-</td><td>70A以下</td><td>70A以下(4d)</td><td>-</td><td rowspan="7">-</td></tr>
<tr><td>5</td><td rowspan="2">30A以下</td><td>70～200A</td><td>70～200A(5d)</td><td>900～2000A</td></tr>
<tr><td>6</td><td>200～800A</td><td>200～800A(6d)</td><td>2000～4000A</td></tr>
<tr><td>7</td><td rowspan="2">30～75A</td><td>800A以上</td><td>800A以上(7d)</td><td>4000～6000A</td></tr>
<tr><td>8</td><td rowspan="6">-</td><td rowspan="6">-</td><td rowspan="6">-</td></tr>
<tr><td>9</td><td rowspan="3">75～200A</td><td rowspan="2">100A以下</td></tr>
<tr><td>10</td><td rowspan="2">125～225A</td></tr>
<tr><td>11</td><td rowspan="2">100～300A</td><td>150A以下</td></tr>
<tr><td>12</td><td rowspan="2">200～400A</td><td rowspan="2">225～350A</td><td>150～250A</td></tr>
<tr><td>13</td><td>300～500A</td><td>250～400A</td></tr>
</table>

注　1）　1時間当たりのアセチレン使用量(リットル)　2）　1時間当たりの酸素の使用量(リットル)
3）　ガス溶接及びろう付けの際にフラックスを使用する場合ナトリウム589nmの強い光が放出される。この波長を選択的に吸収するフィルタ(dと名付ける)を組みわせて使用する。例　4dとは遮光番号4にdフィルタを重ねたもの。

使用前の確認事項

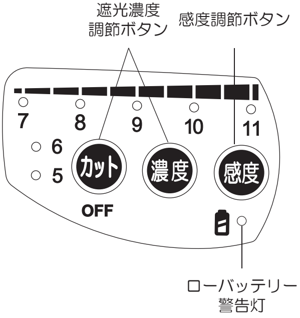
1.使用前に必ず取扱説明書を良く読んで正しくご使用ください。お読みになったあとは、関係者がいつでも見れる場所に大切に保管し、必要に応じて再度お読みください。

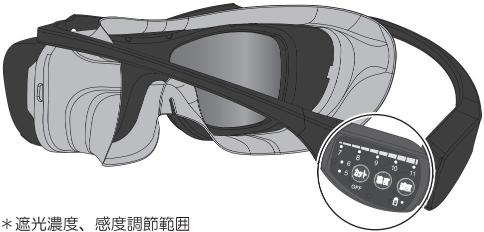
2.運送中に損傷する場合がありますので、ご使用前に自己診断機能でチェックしてください。

＊　自己診断機能　－　使用前または使用中の動作に異常が感じられたときは、自己診断機能を実行してください。

カット ボタンを3秒以上押し続けると、遮光レンズが点滅し、操作表示部のLEDが ７▸８▸９▸１０▸１１▸６▸５▸ローバッテリー警告灯 の順に点滅します。
その後、遮光濃度 #7/感度 #7に自動的に設定されます。
自己診断機能が正常に作動すれば、製品に異常はありません。
この自己診断機能で反応がない場合、または正常な動作をしない場合は、
購入された販売店までお問い合せください。

操作表示部





＊遮光濃度、感度調節範囲

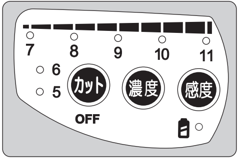
電源	オフ	オン						
モード	グラインド	カット		溶接				
濃度	#3	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
感度	<LOW> 7 8 9 10 11 <HIGH>							

機能の説明

①　電源オン/オフ

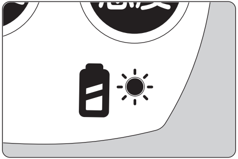
電源を入れる場合：カット 濃度 感度 ボタンのいずれかを押すと電源がオンします。

電源を切る場合　：カット ボタンで#5の状態からもう一度押すと電源がオフします。
作業終了後、60分以上連続して光の変化がない場合、自動停止機能が作動します。
（電源を切ると遮光度#3に固定され、グラインド機能で使用することができます。）



②　ローバッテリー警告灯表示

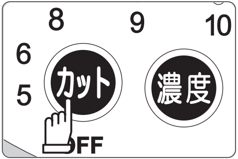
ローバッテリー警告灯の表示は、リチウム電池の寿命を知らせます。
警告灯が点滅を開始してから、約24時間使用できますが、使用条件により異なりますので、速やかにリチウム電池を交換してください。



機能の説明

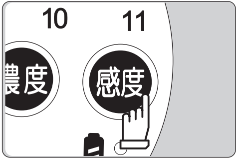
③　遮光濃度調節機能（カット/濃度）

遮光前の明るい状態は、遮光濃度#3（グラインド機能）であり、作業環境に合わせて カット 濃度 ボタンで遮光濃度を調節します。
カット ボタンを押すと、遮光濃度が#5～#6、濃度 ボタンを押すと、#7～#11まで順次変更され、その遮光濃度のLEDが５秒間点灯します。
電源をオフにすると、最初の明るい状態（遮光濃度#3）に戻ります。



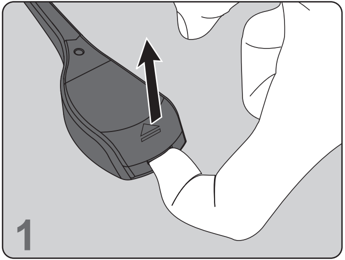
④　感度調節機能（感度）

溶接電流の強さやガスの使用量に応じて、アーク光の明るさが異なります。
その明るさに応じて光センサーの感度を調節します。
作業環境に応じて、感度の調節を行ってください。
感度 ボタンを押すと感度が ７▸８▸９▸１０▸１１ の順に変更されます。

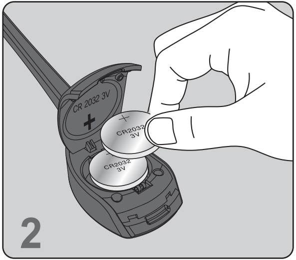


リチウム電池の交換方法

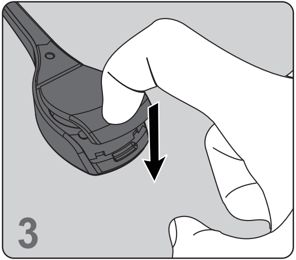
ローバッテリー警告灯が点滅している場合は、製品の使用を中止し、速やかにリチウム電池を交換してください。(電池は２個同時に新品のものと交換してください。)



カバーを矢印の方向に引いて開けます。

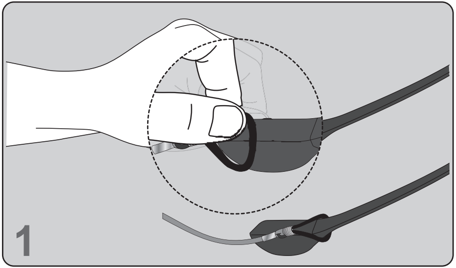


リチウム電池の＋側を上にして、2個交換します。

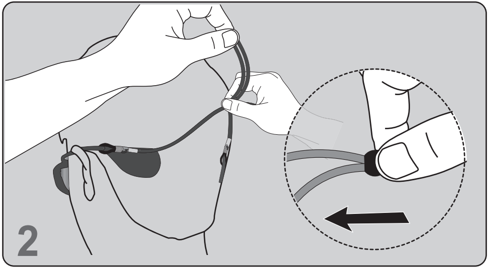


電池ケースのカバーを矢印の方向に引き下ろします。

メガネストラップの取付け方法

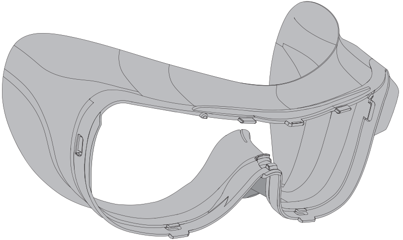


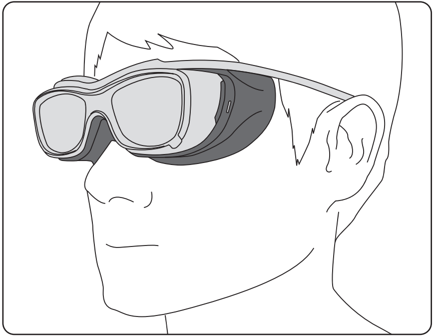
製品の両方の足の先端部分にゴムリングを伸ばして掛けます。



根元の調節部分で製品が顔に密着するよう調節します。

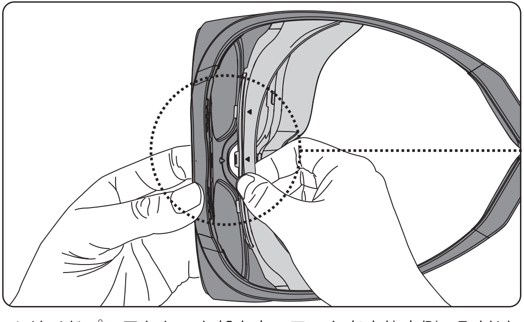
サイドプロテクターの取付け方法

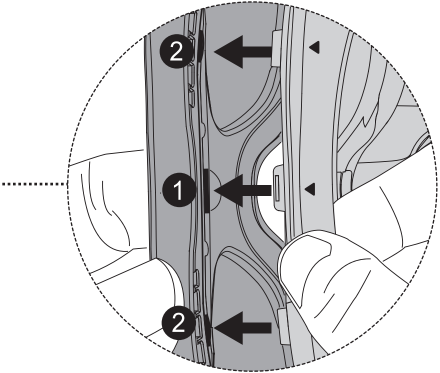




・サイドプロテクターは、本体と顔の空間に浸透する光をカットします。取付け方法は、17～19ページを参照し、取り外すときは、取付けの順序に関係なく手前に取り外してください。

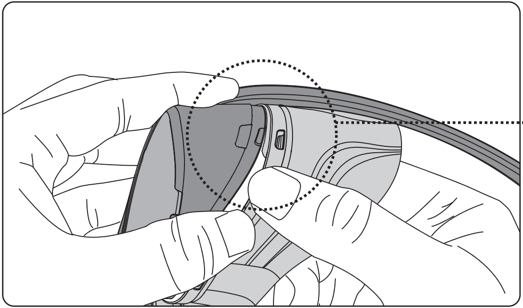
サイドプロテクターの取付け方法

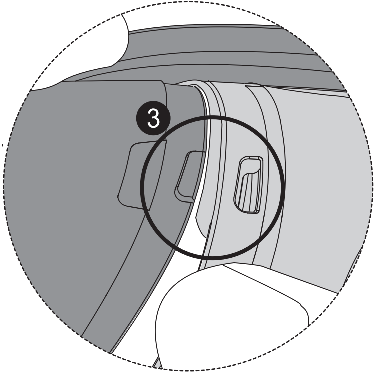




1.サイドプロテクター上部中央のフックを本体内側の取付け穴に合わせて差込みます。

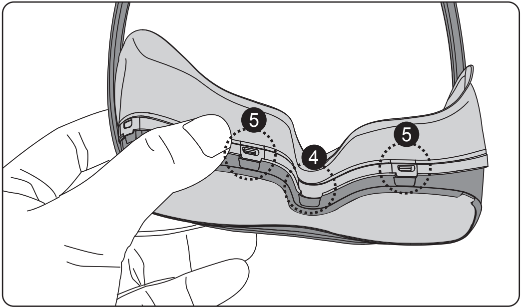
サイドプロテクターの取付け方法

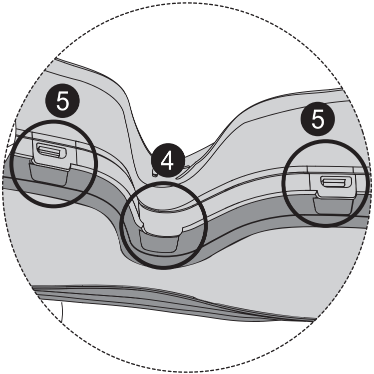




2.サイドプロテクター左右側面のフックを本体左右側面の取付け穴に合わせて差込みます。

サイドプロテクターの取付け方法





3.サイドプロテクター下部の3つのフックのうち④から差込み、
⑤は任意の順で差込みます。

前面カバープレートの交換時期と取付け方法

①　前面カバープレートの役割

前面カバープレートは、本製品が動作するのに重要な部分である光センサーや遮光レンズをスパッタやヒューム、ほこりなどから保護する重要な役割を果たします。

②　前面カバープレートの交換時期

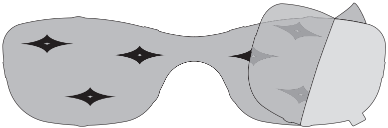
前面カバープレートの表面に傷やスパッタ、汚れなどで異物が付着し視界が妨げられている場合は、速やかに交換してください。また前面カバープレートにたわみがあり本体との隙間が発生した場合も、必ず交換してください。
前面カバープレートが汚れた状態で使用すると、センサーが遮られ、製品が動作しない場合があります。

!

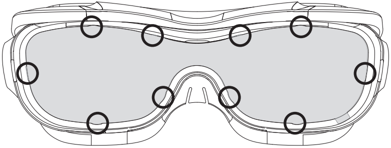
・前面カバープレートを装着しない状態では、絶対に作業しないでください。
・前面カバープレートを装着しない状態で、保管しないでください。

前面カバープレートの交換時期と取付け方法

・前面カバープレートの取付け方法
交換させる新しい前面カバープレートの保護ビニールを剥がし、図に示されている本体外側の溝に前面カバープレートを合わせて任意の順で押し込んでください。
この過程で前面カバープレートに異物が付着した場合は、メガネ拭きで拭き取ってください。



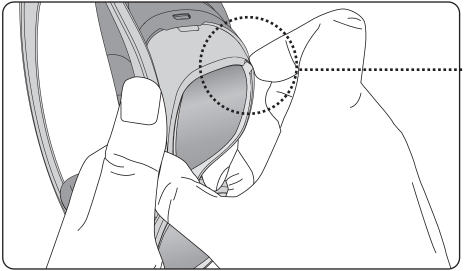
前面カバープレート

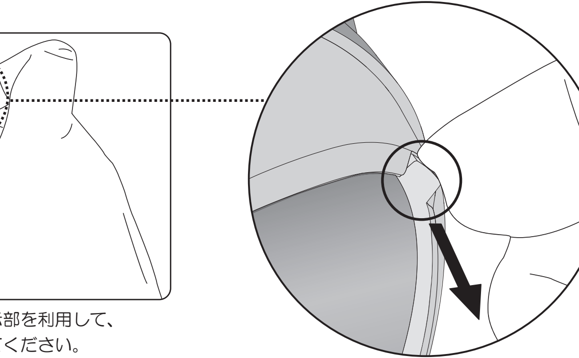


本体外側の溝

前面カバープレートの交換時期と取付け方法

・前面カバープレートの取り外し

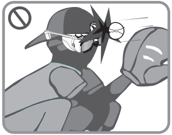




前面カバープレート下部の表示部を利用して、
矢印の方向に引いて取り外してください。

安全上のご注意

! 危険　身体に危険をもたらすことがあり、製品の故障の原因となりますので必ず守ってください。



本製品を溶接作業以外の用途に、絶対に使用しないでください。

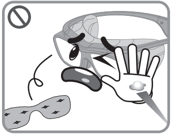
乗り物の運転やスポーツ、またはレーザー光用としては絶対に使用しないでください。
製品の破損や身体に被害を与える恐れがあります。
長時間の溶接作業を行う場合は、顔や首などをアーク光から保護する対策を施してご使用ください。
溶接焼けなど、身体に被害を与える恐れがあります。

本製品に衝撃を与えないでください。

本製品はガラス製の部品や電子部品で構成されていますので、落としたり強い衝撃を与えないでください。
製品の破損や故障の原因となります。
強い衝撃が加わった場合には、使用前の確認事項（10ページ）を読んで、必ず安全性を確認してください。

安全上のご注意

! 危険　身体に危険をもたらすことがあり、製品の故障の原因となりますので必ず守ってください。



前面カバープレートを取り外した状態では、絶対に使用しないでください。

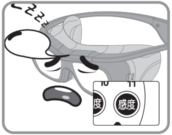
前面カバープレートを装着しないで使用した場合、衝撃で遮光レンズが割れたり、スパッタやヒューム、その他の異物が付着して使用できなくなります。
前面カバープレートを取り外した状態で発生した不具合は、保証の対象外となります。

雨や雪にさらしたり、湿気の多いところ、周囲温度が70℃以上になるところでは、使用しないでください。

本製品は遮光レンズ、および電子部品で構成されていますので、部品の腐食などの故障を引き起こす可能性があります。また、夏の高温となる車内には、絶対に保管しないでください。

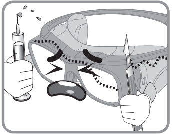
安全上のご注意

! 危険　身体に危険をもたらすことがあり、製品の故障の原因となりますので必ず守ってください。



作業環境に応じた感度に調節して使用してください。

感度が作業環境に合っていない場合は、自動遮光機能が動作しない場合があります。

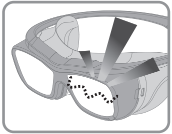


本製品を絶対に分解や改造をしないでください。

分解や改造を行ったものについては、一切の責任を負いません。
また、目や身体に深刻な影響を与える可能性があります。

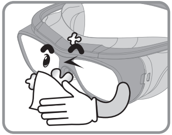
安全上のご注意

警告 製品の使用において、誤作動を引き起こす可能性がありますので注意してください。



遮光レンズは、どのようなものとも直接接触させないでください。

必ず前面カバープレートを使用してください。
遮光レンズが破損すると、遮光機能が低下して作業者の目に深刻な影響を与えます。
使用後は、必ず収納ケースに入れて保管してください。

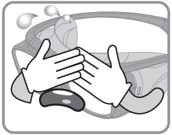


遮光レンズに異物が付着した場合は、拭き取ってください。

遮光レンズに汚れや異物が付着した場合、誤作動を起こすことがあります。
メガネ拭きで軽く拭き取ってください。
このとき、異物で遮光レンズを傷つけたり破損させないよう注意してください。

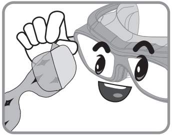
安全上のご注意

! 警告 製品の使用において、誤作動を引き起こす可能性がありますので注意してください。



光センサーに異物が付着したり、光センサーがアーク光から隠れないようにしてください。

遮光レンズが動作せず、目に深刻な影響を与えることがあります。
異物が付着した場合は、綿棒などを用いて軽く拭き取ってください。

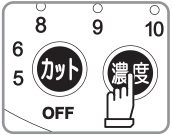


初めてご使用されるときは、前面カバープレートの保護ビニールを必ず剥がしてから使用してください。

保護ビニールを付けたまま使用すると、溶接熱で保護ビニールが溶けついて、視界や光センサーを覆って遮光レンズが動作しなくなります。

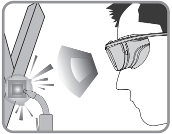
安全上のご注意

注意 製品の使用において、誤作動を引き起こす可能性がありますので注意してください。



作業環境に合わせて遮光濃度を選択してください。

作業環境やアーク光の強さにあった遮光濃度に調節してください。

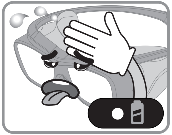


溶接作業時に、アーク光と光センサーは一直線を維持してください。

アーク光と光センサーの視野角が60°以上になると、自動遮光機能が動作しないことがあります。

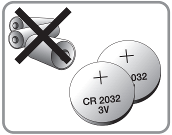
安全上のご注意

! 注意 製品の使用において、誤作動を引き起こす可能性がありますので注意してください。



ローバッテリー警告灯が点灯した時には、リチウム電池を交換してください。

ローバッテリー警告灯が点灯した時点から24時間程度使用することができますが、作業環境によって差がありますので、速やかに交換してください。

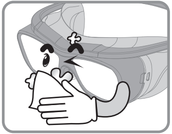


リチウム電池は、CR 2032/3Vを2個、同履歴のものを使用してください。

リチウム電池を交換するときは、2個同時に新品と交換してください。

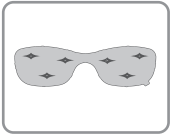
安全上のご注意

! 注意 製品の使用において、誤作動を引き起こす可能性がありますので注意してください。



前面カバープレートに異物が付着した場合は、拭き取ってください。

前面カバープレートを取り外して、きれいな布と流水で優しくこすり洗いしたり、乾いた布で軽く拭き取ってください。



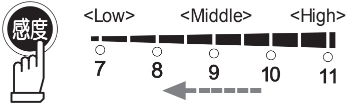
前面カバープレートは、当社純正品を使用してください。

規格外のカバープレートを使用すると、遮光レンズとカバープレートの間に隙間が生じ、スパッタやヒュームが浸透することがあります。
また耐熱性が弱く、溶接熱で溶けることがあります。

トラブルシューティング

トラブル	原因	解決
遮光レンズが暗くなって明るく戻らない	他の人の溶接作業と距離が近過ぎませんか？	溶接方向を少し変えるか、距離を離して作業してください。
	蛍光灯や白熱灯が近くにありませんか？	光センサーが蛍光灯や白熱灯に向かないようにしてください。
	感度調節が高く（11）なっていませんか？	作業環境に応じて、感度を中間（9）または低く（7）調節してください。

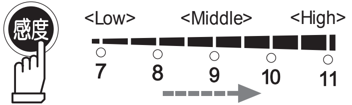
感度を下げて（＜LOW＞７側）、作業に適した位置に調節してください。



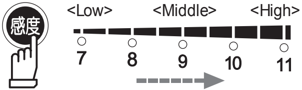
トラブルシューティング

トラブル	原因	解決
遮光レンズが明るい状態で暗くならない	アーク光と光センサーの距離があまりにも遠くありませんか？	距離を近づけてください。特に50A以下の低電流で溶接するときは、アーク光の近くで維持してください。
	アーク光と光センサーが一直線を維持していますか？	光センサーとアーク光が一直線になるように維持してください。
	光センサーに異物が付いていたり、隠れていませんか？	光センサーの異物を除去してください。
	前面カバープレートに、異物が付着していませんか？	前面カバープレートを洗浄または交換してください。

感度を上げて（＜HIGH＞11側）、作業に適した位置に調節してください。



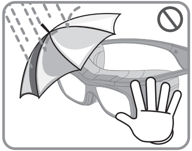
トラブルシューティング

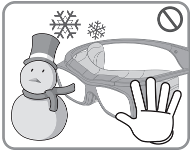
トラブル	原因	解決
遮光レンズが点滅する	アーク光と光センサーの距離が遠くないですか？	アーク光と光センサーの距離を近づけてください。
	感度が低く調節されていませんか？	感度を上げて（11）、作業に適した位置に調節してください。 
遮光レンズがまったく動作しない	リチウム電池が消耗していませんか？	リチウム電池を交換してください。 （CR 2032/3V　2個）

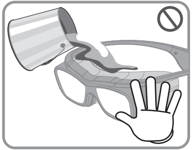
トラブルシューティング

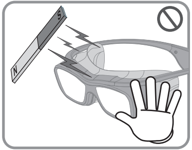
トラブル	原因	解決
保護ビニールを剥がしていない	視界が妨げられ光センサーが光を検出することができず、溶接作業時に溶接熱によって保護ビニールが付着して誤作動を起こします。	前面カバープレートの交換の際に、保護ビニールをすべて剥がしてください。

注意









本製品は、遮光レンズや電子部品で構成されていますので、雨・雪・湿気・強い周波数・磁力により故障を引き起こす可能性があります。必ず収納ケースに入れて保管してください。

保証書

・ 無償保証修理を受けられる期間は、本体のみお買い上げから1年とします。
付属品につきましては、保証の対象外とさせて頂きます。
・ 保証期間内に通常の使用状態で本製品を構成する部品に製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り修理を無償で致します。
・ 強い衝撃や、スパッタの付着により遮光レンズが割れることがあります。ヒビの入った遮光レンズは保証の対象外となります。
・ 取扱説明書の記載事項が守られずに発生したあらゆるトラブルに関しては、一切の責任を負いませんので予めご了承願います。
・ 本製品の故障に起因するあらゆる損失及び費用は、保証の範囲から除外させて頂きます。

製品名		製造番号
お買い上げ日		
お客様	お名前 ご住所 TEL	
販売店様	店名 住所 TEL 印	

マイト工業株式会社

本　社　〒547-0006　大阪府大阪市平野区加美正覚寺4丁目7番23号
電話（06）6793-8531㈹　FAX（06）6793-4422

might マイト工業株式会社

No. 140605001